

<中学校>

## 「食から見る世界」

～ 食品ロスを考える ～



教科[家庭科・総合的な学習の時間]、学年[1～3年生]、講座時間[50分]、実施場所[教室等]

関連題材：A 生活の自立と衣食住 (2)食品の適切な選択、(5)食生活の課題と調理の応用

D 身近な消費生活と環境 (2)家庭生活と環境

### ねらい

- ・食をテーマに「消費」「廃棄」の現状や仕組みについて学び、「食」に関する課題を認識する。
- ・「食」に関して世界とのつながりを知り、国際理解の態度を養う。
- ・調べ学習やグループワークを通して持続可能な社会の実現のために自分に何ができるのか「考え」「気づき」、課題解決に向けて学び合う中で、主体的に参加する態度や問題解決能力、コミュニケーション能力、他者と協力し他者の視点や考えを認め合う態度を養う。

### 授業内容

- ①購入した食品の行方を考える中で、食品ロスの現状を知る。
- ②食品ロスを減らすために自分たちができることをグループワークや全体交流を通して考える。
- ③食品ロスの視点から自らの商品選択の視点を増やし、自らの消費行動が「社会」「環境」「経済」「安全性」に与えることを理解する。
- ④今後の消費行動について自分なりの考えをもつ。

### 使用する教材・資料等

◇受講者が準備するもの

◆講師が準備するもの

◇食品を購入するとき重視していることを家族に聞いておく。

◆ワークシート、食品ロスに関するデータ等、消費期限と賞味期限

### 実施機関

浜松市市民生活課 暮らしのセンター（消費者教育担当者）

下記連絡先、はままつづくりネットワークセンターウェブサイトから、実施日の1ヶ月前までに申し込んでください。浜松市暮らしのセンター消費者教育担当者を講師として派遣します。また、事前打ち合わせが必要なため、授業実施の1週間前までに講師へご連絡ください。

お問い合わせ・申込先：浜松市教育委員会教育総務課

☎：053-457-2401

◇ 学習過程	
学習活動	支援(○) 評価(◎)
<p>&lt;導入&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族が買い物をする時に重視していることを発表する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任がT2の紹介をし、本時の目標を説明する。</li> <li>・事前に家族に食品を買う時に重視していることを聞いておくよう指示。</li> <li>○近くで情報交換をさせた後、発表させる。</li> <li>・いろいろな視点から食品を吟味して選んでいることを確認する</li> </ul>
<p>&lt;展開&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入した食品の行方を考えよう →食べる、食べ残して捨てる、食べずに捨てる</li> <li>・日本の食品ロスの現状を知る。 →食品ロスの多い国を知る。</li> <li>・食品ロスはどこから発生しているか？ → コンビニ・店・生産者・家庭他</li> <li>・家庭における食品ロスの内訳を知る。 ★私たちにも食品ロスを減らすためにできることがありますよね！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ残したり食べずに捨てたりすることがもったいないことに気づく</li> <li>・食品ロスの定義を説明する。</li> <li>・食品ロスが多い国と世界の食糧事情を補足する。</li> <li>・日本の食事情：食料自給率39%にもかかわらず廃棄量の多い国。</li> <li>・食品ロスの半分が一般家庭からのものであることを示す。</li> <li>・内訳の円グラフを提示する。</li> <li>・一人当たりの食品ロス量は年間24.6kg、茶碗164杯分であることを知る。</li> </ul>
<p>&lt;本時の目標&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>食品ロスを減らすために自分は何ができるか考えよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費期限と賞味期限の意味を理解する。</li> <li>★まず自分で考え、その後近くの人と意見交換する。</li> <li>・「買い物で」「家で」「食事で」できることを考え、班でまとめ(ホワイトボード)、発表する。</li> <li>・何人かに発表してもらおう 食べ残ししない、買いすぎない、過剰除去しない、作りすぎない等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを配付する</li> <li>・消費期限と賞味期限の違いを理解する。</li> <li>・消費期限と賞味期限について説明し、賞味期限は「おいしく食べられる期限」なので、過ぎてても健康被害に直結することはないことを確認する。</li> <li>○できることを増やすために「買い物で」「家で」「食事で」のそれぞれの場面で考えさせる</li> <li>・おつとめ品は今日明日ならまだ十分食べられるので、消費者の財布にも優しい、その上、廃棄なくて済む＝食品ロスが減ることを伝える。</li> </ul>
<p>&lt;まとめ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品を選ぶ時の視点はいくつもあるが、世界や地球の未来についても考える。</li> <li>★食品ロスのもたらす問題： →もったいない 処分するのに環境負荷、自給率39%、他国の栄養失調</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会のためにも、自分にとってよいことが、他人を犠牲にしたり自然を破壊することに繋がっていないか考えることが大事なことに気づかせる。</li> <li>・時間の余裕があれば少量パックの説明をする。</li> <li>・NHK番組をまとめた食品ロスの資料を配布する。時間の関係で使えなければ家庭で読んでもらう。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに本時で学んだことを記入する。 時間があれば発表してもらおう</li> <li>★最初+食品ロス+今後…食品ロスに関する視点を増やし、自分だけでなく、他人や環境にも優しい消費者市民に！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○時間があれば、家庭科教材キットを活用する。</li> <li>キーワードカード： 地産地消・フードマイレージ・食品ロス・グリーンコンシューマーを紹介する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎食品を購入する際に「食品ロス」を減らす等新しい視点が加わったか挙手により確認する。 ★書いているときに見回りしながら、考えを認めつつ食品ロスの視点が持てたか確認する</li> <li>○★選択の視点はいくつも持ちつつ、何を優先させるかは「時」と「場」に応じて決めればよいことを付け加える</li> </ul>
担任からまとめと次回の予定を聞く。	・本時の授業で学んだことを家族と話し合うよう伝える。